『古屋敷南公園』づくり　VOL.3 （最終回）

平成 30 年 1 月 25 日

第３回 ワークショップ『プランをチェックしよう！』開催

編集・発行
福岡市役所 みどり整備課
TEL:092-711-4409

～２８人の地域の皆さまが参加しました！～

福岡市では、古屋敷南公園のリニューアルを行うにあたり、地域の３世代が集い、愛着のある場所となるよう、３回のワークショップを通じて、計画を取りまとめる取り組みを行っていました。

その最後のワークショップを、１１月１８日（土）に『プランをチェックしよう！』をテーマとして、開催しました。過去２回のワークショップの成果を基に作成した計画案について、現地で配置や高さについて検討し、計画案の修正ポイントを確認しました。

●○●　これまでのワークショップの流れ　●○●

第１回 WS　9/16
公園を知ろう！

再整備についてアイデアを出し合いました。

「見通しの良いオープンな公園」「グラウンドの有効利用」の２つのコンセプトを整理

第２回 WS　10/14
公園のプランを作ろう！

区域を取ってマークを貼りプランを作りました。

「入り口ゾーン」「遊具ゾーン」「休憩ゾーン」「広場ゾーン」からなる公園計画案を作成

今回のワークショップ
第３回 WS　11/18
プランをチェックしよう！

現地で計画案の修正点を確認しました。

最終案を作成しました！
（裏面をご覧ください）

計画案の説明

これまでのワークショップの成果を基に作成した計画案を説明しました。

スペースの配置の検討

計画をビニルテープで示し、各スペースの配置について検討しました。

高さの検討

フェンスなどの高さも現地で確認して検討しました。

修正点の確認

最後にみんなで計画案の修正点を確認しました。

古屋敷南公園再整備の最終案を作成しました！

見通しの良いオープンな公園、グラウンドを有効に使えるをコンセプトに、地域の子どもからお年寄りまで集える公園となるよう、４つのゾーンからなる公園を、**ワークショップでの提案に基づき**作成しました。

最後のワークショップでの主な検討ポイント

・パーゴラの配置
・地域倉庫の配置
・フェンスの高さ　など

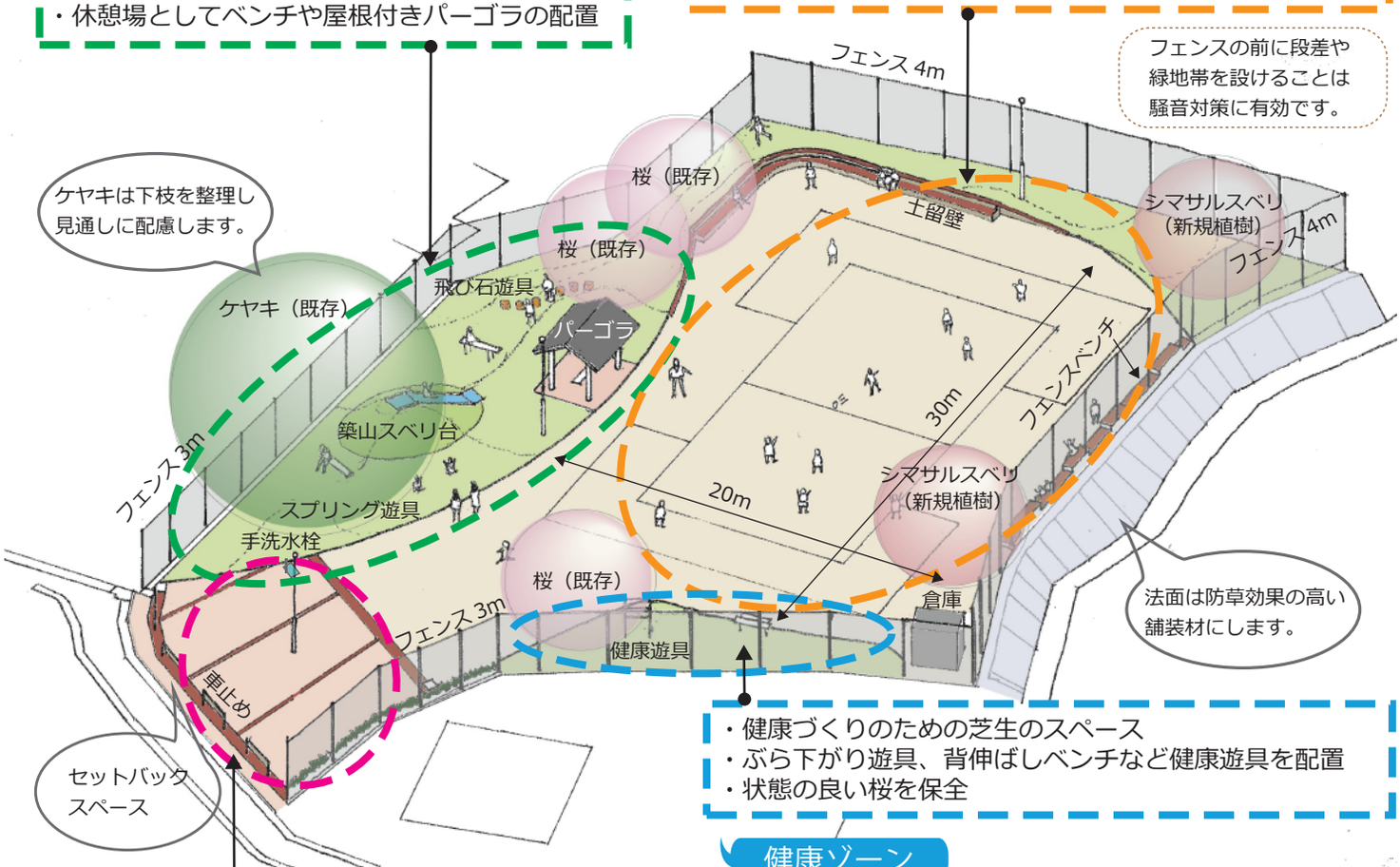
主に近隣への配慮の視点からの検討が行われました。

遊具ゾーン

・遊具のある子供や幼児の遊び場
・水はけの良い起伏のある芝生のスペース
・芝の保護や雑草の抑制に配慮する工夫
・ケヤキ、桜を保全
・休憩場としてベンチや屋根付きパーゴラの配置

広場ゾーン

・30m×20m 程度の広さのグラウンド
・フェンスベンチ、土留め壁を工夫した着座スペースをグラウンドの周囲に配置
・雑草が生えないよう整地した土系舗装



健康ゾーン

・健康づくりのための芝生のスペース
・ぶら下がり遊具、背伸ばしベンチなど健康遊具を配置
・状態の良い桜を保全

入口ゾーン

・入り口からの見通しや開放感に配慮
・明るいイメージを演出する舗装
・隣家との緩衝スペースとして植込みを配置
・取り外しできる車止め

その他

・フェンスは農地側 4m、隣地側 3m（圧迫感に配慮）
・西角に地域倉庫スペース
・法面は舗装し、フェンスに管理用の出入り口を確保

●◎●　今後の予定　●◎●

○この最終案を元に実施設計を行います。
↓
○来年度（H30 年４月以降）工事を開始します。
↓
○来年度末（H31 年３月）の完成予定です。

※工事に際しましては、再度お知らせします。

ワークショップ参加者の皆さん
ご協力ありがとうございました！